

東京岩高会会報

第61号

令和元年7月21日

総会開催案内

第63回 東京岩高会総会

年に一度の大結集
上野の丘に岩高家族の
笑顔の花を咲かせよう

令和元年 11月23日（土曜日）
午前11時開会（上野公園グリーンパーク）

詳細は2ページに掲載

岩ヶ崎鶴丸城跡から母校を望む
写真「東京岩高会ふるさと大使 土井祐之 S.54卒」



第63回 東京岩高会 総会 開催案内

1. 第63回 東京岩高会 総会のご案内

平素より、当会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂きまして御礼申し上げます。これも諸先輩方・ご関係の皆様方のお支えが有ることと存じます。改めて御礼申し上げます。

さて、今年の総会は下記のとおり開催致します。特別プログラムでは、和久充さん(47年卒 鶯沢出身)による「香りの世界」についてのお話を予定しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

(1) と き : 2019 (令和元) 年 11月 23日 (土) 11:00 ~ 15:00

(2) と こ ろ : 「グリーンパーク」

東京都台東区上野公園 1-59 (上野公園西郷銅像横)

TEL 050-5815-0516

(3) 会 費 : 男性:7,000円 女性:6,000円

※学生で参加される方はご招待(無料)

(4) 出欠連絡 : 9月30日までにご連絡を頂きます様お願い致します。

※出欠の変更はその後受付けますので、下記または関係役員までご連絡下さい。

支部長: 長沼 和秋 090-5339-8141

幹事長: 高橋 聖 080-5034-0179

(5) 還暦の会 : 今年は53年卒が対象であり、当日は当会よりお祝いを進呈いたします。

お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内申し上げます。

2. 東京岩高会 年会費ご協力のお願い

皆様方から頂いた貴重な年会費が活動の支えになっております。昨年は150名の皆様方から浄財を賜りまして、真に有難うございます。

本年も引き続き倍日のご協力の程、宜しくお願い致します。

(1) 年 会 費 : 3,000円

(2) 振込期限 : 総会開催前の10月31日までに同封の郵便振替用紙により最寄りの郵便局で振込みをお願いします。なお、お振込みにあたっては、ATMをご利用頂くと手数料が軽減されます。

東京岩高会 支部長 長沼和秋
幹事一同

香りの世界

私たちの生活に密接にかかわっている「香料」について、香りの役割、香料の作り方、そして香りにかかわる最近の研究についてお話致します。



和久 充 (S.47年卒 鶯沢出身)

東北大学理学部化学科卒

長谷川香料株式会社入社 研究部門、生産部門、
海外関連会社(米国・中国)に従事、その間、東京
大学にて「生物活性を有するテルペン類の合成」
研究で農学博士取得

The diagram illustrates a chemical synthesis process for a fragrance. It features a glass apparatus with a condenser and a flask, a chemical reaction scheme with reagents like DIBAL-H and IBX, and a pyramid-shaped diagram with labels like 'pungent' and 'sulfurous'. Below the diagram are four circular images: a plate of fruit, a roasted chicken, a pile of spices, and a pink rose.

今年も走る支部長として 頑張つていきます



長沼 和秋
同窓会
東京支部長
(就任H.28/11~)
S.53年卒
鶯沢出身

ネパール新聞に元マラソン
コーチ紹介される
(H30.10)

平素より、東京岩高会に對しまして、ご理解・ご協力を頂いておりまして御礼申し上げます。

昨年11月に開催しました「東京岩高会総会」では、3月に卒業した同窓生5名の出席がありました。そのお一人からは、「ご招待頂きありがとうございます。年配の方ばかりで少し戸惑うところはありましたが、先輩方が私達を歓迎してくれて、自身のためになるお話を沢山聞くことができました。これからも良い日になりました。これからも頑張りたいと思います。都合が合

えば次回も参加しますのでよろしくお願ひします」と。今年の卒業生からも出席してみたいというお話を聞いていますので、出席して良かったというような総会にしていきますので、若い方々の参加お待ちしております。「マラソン」に関しては、これまで東京マラソン6回、地元の栗原ハーフマラソン2回、そしてネパールのカトマンズマラソン3回と出場しており、3月に行われた板橋シティマラソンでは佐々木くに子顧問の応援を頂き3時間38分51秒で走りきることができました。

また、昨年11月に行われた栗原ハーフマラソンでは、大会ボランティアを務めていた母校陸上部の生徒や顧問の先生ともお会いすることができました。一昨年の大会でお会いした生徒からは、今年2月の同窓会入会式での東京支部長との顔合わせで「1年前の大会で声をかけて頂いたこと覚えています」と。今年も栗原ハーフマラソン走りますので、陸上部の皆さんお会いしましょう！

「ネパール」の繋がりは、35年前にJICA海外協力隊で参加した時からで、今でもカトマンズマラソンを走りに行き、現地の旧友たちとの交

流を深めています。来年の2020東京オリンピックに向けて、昨年来ネパール選手、およびその関係者が来日する機会も増え、日本でのアテンドを行っています。ネパールのスポーツ界を熟知しネパール語を話せるのは、日本で私ぐらいかと思っております。来年のネパール選手団の来日では、何らかのサポートをしたいと考えております。

今年も、これまで築いてこられた先輩方の篤い思いと人との繋がりを大切に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



赤羽ハイテクマラソン出場時(H31.1)

応援に来て下さった 左:佐々木さん、右:須田さん



東京岩高会は
関東で活躍する同窓生を
応援しています

同窓会入会式(H31.2)

母校の応援団として 結束を強化



葛岡 重利
岩高同窓会会長
(就任H.25/8~)
S.41年卒
鶯沢出身
旧鶯沢町長

平成30年度の同窓会入会式を新装なった体育館で2月28日に執り行い、平成最後の卒業生82名を同窓会員として迎えました。今回も東京支部から長沼支部長にはわざわざご出席を頂き、東京岩高会の活動状況や自ら青年海外協力隊で参加したネパール在住当時の様子などを紹介され、歓迎のご挨拶を頂きました。

終了後には、昨年に引き続き東京方面に移られる新卒者との懇談の場を持たれました。若い世代の積極的な参加を呼びかけられ、東京支部に集う同窓の輪がさらに広がってほしいと願っております。

当日は、新体育館のお披露目式が行われ、生徒代表から建設に携わった方々に感謝の言葉があり、立派に完成した新体育館が今後の学び舎として末永く活用されることを願っております。

母校を取り巻く環境も年々厳しさを増しております。今年の新入生徒数も60名と募集定員120人の丁度半分です。

宮城県は今年2月、第3期県立高校将来構想を策定しました。栗原市内中学卒業生数は10年後の令和10年には100人程度減少し、430人程になると推計しております。このうち2割程度が市外の高校に進むことが予想され、市内4高校の募集定員は、14クラス(迫桜高5・築館高4・岩ヶ崎高3・一迫商2)560人を大きく下回ります。

「今後10年間の方向性として入学定員の減が必要」との記述もあり、クラスの削減も含め今後10年間で栗原地区の高校再編が進むのではないかと危惧しております。

生徒数の確保に当たっては栗原の北西部という地理的ハンディキャップは避けることはできません。このような状況の中で校長先生はじめ教職員一丸となって生徒たちの能力を引き出し成績の向上に懸命に努力されております。さらには岩ヶ崎高校の特色を市内小・中学校にも発信しております。

我々同窓会としても母校存続のために、PTAや地域の方々とも連携して取り組まなければならない喫緊の課題であります。

まずは我々同窓生が母校の応援団として危機意識を共有し、存続に向けた結束を一層強くしなければならぬと考えております。

以上、母校の状況を申し上げますが、平成から令和という新しい時代がスタートしました。東京支部の皆さんには先輩方が築いて来られた同窓の絆をさらに強くし、母校存続に向けて一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げますと共に東京支部の益々の発展と皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。



目次

東京岩高会総会開催案内

【ご挨拶】

- 宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会
- 東京支部長 長沼和秋
- 同窓会会長 葛岡重利
- 仙台支部長 高橋清志
- 宮城県岩ヶ崎高等学校
- 学校長 菅原賢一
- 本校近況
- 事務局長 村松和洋

「岩ヶ崎高校の今」



菅原 賢一
第26代学校長
(赴任H.31/4～)

同窓生の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、支部長様をはじめ、東京岩高会の皆様には、常日頃から本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて私こと、この度、吉田玲子校長先生の後任として、県教育庁教職員課から参りました新任校長でございます。築館出身ではありませんが、栗原・登米地区での勤務は初めてで、とても楽しく過ごしております。栗原は4月に入ってから荒天が続く、秀峰栗駒山が雲に隠れる日が続いております。11日には雪が積りましたが、生徒はその寒さをものともせず、はつらつと生活しております。すれ違ふときに脚を止めて、礼儀正しく挨拶する様子を見ると、建学の精神「尚志育英」のもと、生徒のもつ資質を真っ直ぐに伸ばし育てたいものだと強く思います。

体育館が解体され、昨年1年間、鶯沢校舎の体育館に移動しての授業など、生徒には不便をかけておりましたが、平成31年2月末、ついに岩ヶ崎校舎の体育館が完成し、新築の香りが漂い黄色の床がまぶしい新体育館で同窓会入会式と卒業式が行われました。

そして、過日4月7日に新入生60名を迎え、今年度の教育活動がスタートしました。2年生49名と3年生82名を加え、5月から令和元年となる今年は総勢191名でのスタートとなります。32名の教職員とともに、各学年3クラスの小規模・少人数ならではの、小回りが利き、気配り・目配り・心配りの届く教育を目指します。

1年生の部登録も終え、先輩の張り切っている声に、1年生のフレッシュな声が混じって聞こえるようになりました。地区総体も間近に迫り、どの部活も一生懸命に活動し、岩ヶ崎高校の名を高めてくれることを期待しております。また、朝の自学自習講座「愛宕塾」もスタートし、進路希望実現に向け、程よい緊張感も伝わってきます。

平成30年度の卒業生の進路実績を振り返ってみますと、国公立大学9名、私立大学62名、国公立短大等6名、私立短大6名、大学校3名、高等看護学校16名、公務員19名、専門学校7名、民

間企業3名で、国公立大学合格者数を維持しながらも、公務員や高等看護学校の合格者数を増やしたことが特徴的でした。生徒の頑張りももちろんですが、先生方も、岩ヶ崎高校の生徒達の可能性を存分に引き出してきています。今後は3年生の進路希望実現に向けた指導とともに、来年の令和2年度から始まる新大学入試制度に向けて、新しい試みを加えながら、さらに生徒達を伸ばしてあげたいと思います。

今後も東京同窓会の皆様のご協力とご支援を賜りながら、岩ヶ崎高校をますます発展させていきたいと考えております。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と東京岩高会のご活躍をお祈り申し上げます。



左: 新体育館外観



本校近況

村松 和洋

同窓会本部 事務局長

東京岩高会の皆様、日頃より本校の教育活動にご支援いただき、ありがとうございます。本校の近況についてお知らせします。

3月1日に第71回卒業式が行われ普通科82名の生徒たちが学び舎を巣立っていきました。体育館がいに完成し、新体育館において、多くのご来賓の参加をいただき盛大な卒業式になりました。

3月28日には離任式が行われ、吉田玲子校長先生、佐々木英貴教頭先生はじめ主幹教諭の佐藤幸三先生など13名の先生方を送り出しました。

4月7日に新任式が行われ、菅原賢一校長先生や西條崇史教頭先生、新任の水戸光洋先生など11名の先生方をお迎えしました。また、午後からは入学式が行われ、普通科60名の生徒が入学を許可されました。

さて、昨年度の本校の出来事を振り返ってみますと、何よりも体育館建設に向けての日々が思い起こされます。体育の授業は、バス移動により鷺沢校舎の体育館を使用して行われ

ました。バレーボール部、バスケットボール部、卓球部等屋内競技の部活動は、栗駒体育館と鷺沢校舎体育館を使い分けて活動しました。また、岩ヶ崎校舎での授業においても、工事を進める音が聞こえる中で行われました。しかしながら、工事に携わる人たちが3月1日の卒業式に間に合わせようと、つまりは本校生徒のために頑張つて働いてくれていることを感じ取り、環境に囚われることなく授業に集中して取り組んでいました。

新体育館は無事に完成し、2月28日に同窓会入会式に先んじて落成披露目会が催されました。現在、授業や部活動はもとより前述した卒業式、入学式などの式典、対面式や生徒総会などの生徒会活動等を、高い天井で広く明るくなった環境で行われています。

部活動においては、科学部が宮城県生徒理科発表会で最優秀賞を受賞しました。「ダンボールを利用したベッドの作成」の研究を行い、県でも物理部門2校だけの受賞となる快挙を成し遂げました。運動部では、野球部が秋季大会で県ベスト16、女子バレーボール部が平成31年の春季大会登米栗原地区大会で優勝するなど活躍しております。



旧体育館「木造トラスト工法」模型

同窓会総会は、8月4日に市内のベルデイ栗駒で行われました。平成元年卒業の幹事の皆さんが中心となり、約60名の同窓生の参加を得て盛大に行っております。

話は変わりますが、体育館の北側にあった旧体育館の場所は更地となりました。旧体育館は、三角形を基本構造とした木造トラスト工法という県内で唯一存在していた建築物だったそうです。仙台工業高等学校建築倶楽部が、この岩高旧体を縮尺50分の1で1年以上かけて模型を作成しました。模型を見た本校同窓生から

は、思い出が蘇ってくると言われるそうです。本校応接室に置いてありますので、お立ち寄りの際は、ぜひ見学してください。



本校近況（生徒代表）



鈴木 聖矢
生徒会副会長

不安と期待を胸に臨んだ入学式。それから早いもので二年が経ちました。最高学年となり、岩ヶ崎高校をより良い学校にしようと私たち生徒会は様々なことに取り組んでいます。先日、対面式と新入生オリエンテーションが行われました。昨年は、体育館の解体工事のため学校ではできなかったのですが、今年新しく綺麗になった体育館で開催することができました。体育館で行うのは二年ぶりで分からないことなども多かったのですが、生徒会役員で話し合いを行い、なんとか成功することができました。不十分などところもありましたが、今年できなかったことは来年につなげてほしいと思います。

対面式は新入生がステージに登壇し、一人ひとり自己紹介をします。自己紹介後には上級生からの質問コーナーがあります。上級生は新入生を迎え入れようとたくさんの練習を重ね、面白い発表をしてくれるので、毎年大変盛り上がりがあります。笑いがあがることにより、

入生の緊張なども和らいだのではないかと思います。新入生オリエンテーションでは部活動の紹介があり、各部活動が凝った発表を準備しアピールをします。例えば、流行りの芸能人のモノマネをしたり、部活動の様子を再現するなど、面白く、新入生の興味をひいてくれます。これらの行事で岩ヶ崎高校の印象が決まるのではないかとという程、内容の濃い行事です。

四月の後半から五月にかけては、生徒総会や支部総体があります。生徒総会は岩ヶ崎高校の現状を皆で話し合い、より良いものにしていこうという大事な会です。そして支部総体では、各部活動がこれまで毎日一生懸命に取り組んだ成果を精一杯発揮できるよう頑張ります。

生徒会の日々の活動の一つとして朝の挨拶運動を行っています。挨拶を行うことは、生涯にわたり大事なことなので、全校生徒が気持ちよく挨拶ができるように生徒会が声かけを頑張っています。

一方、今問題となっているのが生徒数の減少です。対策として中学生への呼びかけやアピールなどを考え、取り組んでいきたいと思

います。

最後に、今私は岩ヶ崎高校に入学して良かったと実感しています。イベントなどには全校生徒が全力で取り組みます。それが岩高の最大の魅力だと思います。

います。その良いところを生かしながら、これからも岩ヶ崎高校を盛り上げていけるよう頑張ります。





第62回東京岩高会総会開催される

第62回東京岩高会総会は、平成30年11月24日(土)午前11時、上野公園グリーンパークにて開催し、同窓生と来賓総勢95名の出席を頂きました。

近隣の築館高校、迫桜高校からは昨年引き続き関係者の出席を頂きました。

総会はS.48年卒千葉正宏副支部長の司会進行で始まりました。

S.36年卒 加藤旭孝幹事による開会宣言が行なわれ、長沼支部長の挨拶で総会の幕が開かれました。挨拶ではS.45年卒 後藤仁様から茨城の焼

き芋、そして、S.52年卒 岩淵功様が専務取締役を務める「くりこま高原ファーム」様のお米めんが出席者全員に提供があった旨の報告がありました。

ご来賓の吉田玲子学校長の挨拶では本校の野球部がテレビに取り上げられたDVDの放映があり、試合や練習の様子等、見ることができました。

議事進行はS.47年卒 和久幹事が議長に選出された後、各担当幹事から活動報告や会計報告並びに次年度の計画案が発表され、役員体制について

では、引き続き2年間 現体制で進めていくことが満場一致で採択・承認されました。

引き続き、東京岩高会ふるさと大使の任命式を行いました。当会会報の表紙やご自身のブログ『栗駒山の里だより』で、ふるさとの自然や街の様子、地元の祭りやグルメなど、ふるさとの素晴らしさを伝えて頂いているS.54卒 土井祐之さんに任命書をお渡ししました。

今年の特別プログラムは、S.55年卒の菅原広巳さんによる、アメリカンカントリーブルースのコンサートを行いました。本業は行政書士ですが週末などにライブ活動を行い、今年5月にはキングレコードから、『Down home』をリリースしています。

今年還暦を迎え地元栗原からお越し頂いた岩淵功様による乾杯で懇談が始まりました。

- 80歳／傘寿(32年卒)
- 77歳／喜寿(35年卒)
- 70歳／古希(42年卒)
- 60歳／還暦(52年卒)

の節目を迎えた同窓生に 高野山金剛峯寺の御札が贈られました。

今回の総会には、平成30年卒が5名出席したことで、会場は若さ溢れる雰



菅原広巳さんによるカントリーブルース

囲気になっただけでなく、看護師を目指す同窓生には、看護学校で教師を務めた先輩からの激励や、大学で臨床心理学を専攻する大学生には警視庁で勤務している先輩が自ら声をかけにこられるなど、とても有意義な交流の場ともなり「来年も是非参加したい」と語っておりました。

最後は、出席者が腕を組み合い「高校3年生」「ふるさと」を歌い、正に「絆」のラインとなり、応援団を務めた山本信子幹事で「フレーフレー高」と校歌斉唱を行い大歓喜の渦が巻き起こった会となりました。

閉会の辞は東京岩高会 菅原由美 子副支部長が行い、閉会となりました。



土井祐之さんへの「東京岩高会ふるさと大使」任命式



右:後藤仁様からの茨城焼き芋、左:岩淵功様からのくりこま高原ファームお米めん



No.	号	年	氏名
1	賛助		斎藤 君代
2	宮城		滝上 島雄
3	宮城		飯田 伸雄
4	宮城		飯田 正量
5	S	26	伊藤 七郎
6	S	26	小野寺 喜美夫
7	S	26	亀井 榮利
8	S	26	佐竹 章
9	S	28	及川 博子
10	S	28	小野寺 美代子
11	S	28	伊藤 末治郎
12	S	28	高橋 昭三
13	S	28	吉野 玲子
14	S	29	鎌田 匡之
15	S	29	藤代 實
16	S	30	菅原 正八
17	S	30	高橋 次夫
18	S	31	菅原 一
19	S	32	鈴木 俊之
20	S	32	高橋 東三
21	S	32	西島 栄子
22	S	33	木名瀬 五百子
23	S	33	袋 康男
24	S	34	石井 紀子
25	S	34	小林 たか子
26	S	34	四ノ宮 信男
27	S	34	千葉 辰夫
28	S	34	永澤 たつ子
29	S	34	横川 朝治
30	S	35	鎌田 正聰
31	S	35	小柳 典子
32	S	35	菅原 幸二
33	S	35	須田 和恵
34	S	35	高橋 嘉紀
35	S	35	内藤 利雄
36	S	36	小畑 丈夫

No.	号	年	氏名
37	S	36	加藤 旭孝
38	S	36	久保田 信子
39	S	36	佐々木 稔
40	S	36	菅原 富夫
41	S	36	奈須野 栄子
42	S	36	濁沼 松郎
43	S	36	袋 幸男
44	S	36	穂積 宏哉
45	S	37	阿部長 生
46	S	37	伊藤 克侑
47	S	37	木下 峰子
48	S	37	熊谷 栄子
49	S	37	栗原 しげ子
50	S	37	佐々木 くに子
51	S	37	真保 清美
52	S	37	菅原 武人
53	S	37	菅原 三千男
54	S	37	鈴木 晃
55	S	37	須田 陽子
56	S	37	高橋 勝彦
57	S	37	高橋 道彦
58	S	37	武田 桂子
59	S	37	太宰 東臣
60	S	37	津田 久子
61	S	37	安川 ムチ子
62	S	37	結城 家寿子
63	S	37	吉川 とみ子
64	S	37	吉野 久子
65	S	38	岩永 寿子
66	S	38	大関 信輔
67	S	38	佐藤 次夫
68	S	38	只野 和夫
69	S	38	二川 陽子
70	S	39	岩淵 和夫
71	S	39	佐々木 元子
72	S	40	小山 ハルミ

No.	号	年	氏名
73	S	40	桑原 盛一
74	S	40	高橋 節郎
75	S	40	谷川 桂子
76	S	41	鈴木 仙次郎
77	S	41	藤武 巖
78	S	42	小川 晶平
79	S	42	河合 礼子
80	S	42	高橋 秀男
81	S	42	千葉 健二
82	S	42	宮本 洋子
83	S	43	四倉 けい子
84	S	44	伊藤 税
85	S	44	佐々木 敏行
86	S	44	佐藤 正俊
87	S	45	伊藤 初雄
88	S	46	浅野 弘巳
89	S	46	伊藤 光男
90	S	46	佐藤 猛
91	S	46	渋谷 力
92	S	46	菅原 博子
93	S	46	菅原 正雄
94	S	46	守屋 みさ子
95	S	46	山本 信子
96	S	47	加藤 洋
97	S	47	菅原 修悦
98	S	47	和久 充
99	S	48	浅野 和優
100	S	48	石野 久恵
101	S	48	岩崎 哲雄
102	S	48	宇佐美 弘子
103	S	48	梶本 啓
104	S	48	澤田 由紀子
105	S	48	千葉 繁典
106	S	48	千葉 正宏
107	S	48	本田 みさ子
108	S	48	密島 眞夫

No.	号	年	氏名
109	S	49	熊谷 ふじえ
110	S	49	畠山 純子
111	S	49	佐々木 哲夫
112	S	49	菅原 由美子
113	S	49	濱口 幸江
114	S	49	真下 由利恵
115	S	49	松田 清子
116	S	49	渡部 由利子
117	S	50	熊谷 純一
118	S	50	菅原 俊雄
119	S	51	古館 芳子
120	S	52	阿部 久子
121	S	52	大塚 みさ子
122	S	52	菅原 節子
123	S	52	角屋 奈紀佐
124	S	52	高橋 聖
125	S	52	二階堂 ひろみ
126	S	52	星光 男
127	S	53	高橋 良哉
128	S	53	長沼 和秋
129	S	53	山口 真貴
130	S	54	土井 祐之
131	S	55	菅原 弘巳
132	S	55	二本木 栄子
133	H	1	武内 里恵

敬称略

東京岩高会は、皆様方のご理解・ご支援のもとで支えられています。

これからもよろしくお願ひ申し上げます。

東京岩高会役員 一同

会計報告

(平成29年11月1日から平成30年10月31日)

単位：円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	288,767	総会費用	599,810
年会費(143名)	576,000	新年会費用	116,178
総会会費	530,000	慶弔費	3,240
新年会費	102,010	事務用品費	11,117
暑気払会費	110,000	旅費交通費	1,140
ご祝儀	45,000	会議費	50,825
助成金	150,000	通信運搬費	72,375
広告料	65,000	会報費	364,376
雑収入(CD売上)	5,000	暑気払会費	110,000
利子	4	年会費手数料	11,230
		手数料	555
		本部等総会参加費	115,023
		次年度繰越金	415,912
計	1,871,781	計	1,871,781

会計予算案

(平成30年11月1日から令和元年10月31日)

単位：円

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	415,912	総会費用	600,000
助成金 本部	100,000	新年会費用	120,000
年会費	600,000	暑気払会費用	110,000
総会会費	550,000	会報費	370,000
新年会費	100,000	通信運搬費	80,000
暑気払会費	110,000	慶弔費	10,000
広告料	70,000	事務用品費	10,000
		年会費手数料	20,000
		会議費	50,000
		本部等総会参加費	150,000
		予備費	425,912
計	1,945,912	計	1,945,912



第62回 総会写真集

次回はあなたの笑顔と会いましょう。





第62回総会



湧き出る笑顔の泉 岩高家族かい
第62回東京岩高会総会

本総会には岩高同窓生のほか、迫桜高校、築館高校の卒業生の皆様方 総勢 95 名のご出席を頂きました。
(平成 30 年 11 月 24 日 上野公園西郷銅像前階段にて)

同胞の皆様方へ
この日の私達の
姿を 笑顔を
お届けします



第62回
東京岩高会



宮城県岩ヶ崎高等学校
同窓会東京支部

岩高同窓会 東京支部総会に参加して



高橋 彰
迫桜高校同窓会
東京支部長

岩ヶ崎高校同窓会東京支部総会に参加させていただきありがとうございます。近隣高校同窓会の交流をもちますことに感謝し、今後も積極的に参加し盛り上げてまいりたいと思っております。

出席させていただき参考になったことは、卒業年度毎によくまとまり同窓生同志の横の絆がよく取れていることを実感し、感銘している次第です。迫桜会に所属する栗農の場合、昭和32年度、33年度、34年度卒業生の参加が中心になっておりますのも、時の流れかなあと思っておりますが、岩高同窓会のように卒業年度毎に世話人を決め一人でも多くの参加が出来るよう工夫し、魅力ある迫桜会東京支部にしたいと思っております。

申し遅れましたが、私、栗農昭和31年度卒業ですが、平成30年10月の迫桜会東京支部総会で若高出身の菅原久雄支部長の後任として引き受けることに

なりました。今後ともよろしくお願ひ致します。栗農在学中柔道部に所属していた関係で、岩高、築高、若高等の柔道人との知人が多く心強く思っている次第です。その後日本大学経済学部を卒業、株式会社クラレに入社、10年間勤務した後に母校日本大学に後進の指導という名目で戻り、平成15年5月定年を迎えるまで勤務しておりました。同窓会の交流で長沼和秋支部長（日大OB）後輩とも知り合いました。また各校同窓会だけではなく、全国的に少子化に伴い生徒数が減少し、上京する後輩達も少なくなりましたが、近隣高校同窓会の交流を盛んにし母校に多少なりとも貢献出来れば幸いと思っております。

最後に岩ヶ崎高校東京支部のますますの発展充実を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



大学の先輩と後輩

東京岩高会の皆さんの 温かさにふれて



駒井 隆治
築館高校同窓会
東京支部長

東京岩高会の皆さんの集いに参加したことがあります。その時に、最も印象的だったのは、皆さんがとっても仲よしで温かいことです。「同窓会というのは、このようでありたい」と思いました。そして、このような雰囲気は皆さんの長年の積み重ねなのだと思いました。

このような素敵な雰囲気も私どももつくっていききたいと感じ入りました。

ところで、私個人が岩高会とご縁を大変心強く感じたことが二つあります。

一つは、校長をしていた立川市立大山小学校の四十周年行事の時に、岩高ご出身の琵琶奏者・熊田かほりさんに演奏をお願いし実現したことです。祝賀会のオープニングに演奏をしていただきました。その年は、「3・11東日本大震災」の年でしたから、お祝いのムードが盛り上がりませんでした。私

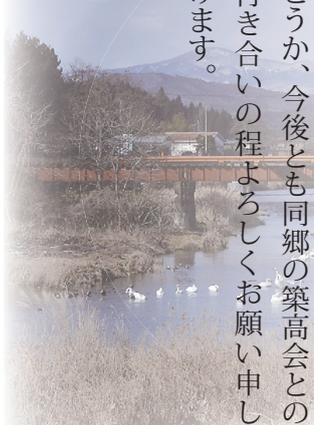
は、祝賀会を派手ではないけれど華やぐ催しにしたいと思っておりました。その時に、思いついたのが熊田さんの琵琶の演奏でした。

当日の演奏は、和服姿で美しい熊田さんが登場すると体育館にいた皆さんがシーンと静まり返りました。そして、若々しい美しい声の熊田さんの演奏が始まりました。とても印象深い演奏になりました。参列の皆さんからは大好評でした。

もう一つは、支部長の長沼和秋さんから渋谷区の教育活動へのご協力を賜ったことです。昨春秋に、渋谷区の中学生の職場体験のご提供を申し出てくださったのです。西新宿の高層ビル内にある長沼さんの会社のお申し出でした。これは、今年度実施される運びとなっております。これは、長沼さんのアクティブなご判断と行動から賜ったものであります。

私は、岩高会とのこのようなよいご縁を幸運に思っております。

どうか、今後とも同郷の築高会とお付き合いの程よろしくお願ひ申し上げます。



4校会 クリスマスパーティー

12月24日(土)上野グリーンパークにて、築館高校、迫桜高校、一迫商業高校、岩ヶ崎高校の4校合同によるクリスマスパーティーが行われました。築館高校東京支部熱海光頭顧問が発起人となり始まった会で、今年で3回目となります。出席者は49名、懇親会に先立ち、迫桜高校 顧問 遠藤幸治様(栗農

23年卒)による「私の履歴書／人生88年の生き様」の講演が行われました。

―ご講演内容から―

栗原農学校(栗農高)に入ったのが昭和20年4月、戦時中であつたことから、授業なく教練という学科が行われ校内には小銃100丁と実弾もあつた。

終戦後になりやっと授業を行われることになった。柔道や剣道は禁止されていたことから、相撲部に入り大阪で行われた全国大会に出場、築館高校の清野先生には大変お世話になった。



高橋彰迫桜東京支部長と菅原由美子様(左)、佐々木くに子様(右)



左より菅原由美子様(岩ヶ崎)、渡邊慧弥ちゃん(築館)、小野寺洋子様(築館)、久保田信子様(岩ヶ崎)



左より遠藤幸治様(迫桜)、小野寺喜美夫様(岩ヶ崎)、長谷部静夫様(築館)、熱海光頭様(築館)

その当時、若柳に米国兵が駐在しており、学校に遊びに来ることがあり、アメフトも米国兵から初めて習った。

東京農業大学卒業後は、叔父が経営する会社に就職、大卒給与7,000円の当時、15,000円での厚遇を受けるも、2年後北海道夕張市鹿島中学校の教諭となった。三菱鉱山で栄えており、働いている人の威圧を感じていた。8年間教諭生活を送るが、日教組による授業開始前30分の組合活動で授業が出来なかつたことで、生徒に迷惑がかかると感じ辞めることにした。

今でも、鹿島中学校の教え子たちとは交流があり、先日北海道で歓迎会を開催してくれて、70歳になる教え子たちは、先生と言って抱きついて涙を流した。それは、夕張の人の心の温かさから来るものだった。

講演途中、ふるさとを想い「若柳、ああ若柳……」と謡われた遠藤幸治顧問、88歳とは思えない、当時のことをつい最近のように語り、夕張での教諭生活やご自身の様々な資料を一冊にまとめた教え子たち、改めて先輩の偉大さとお人柄を感じた時でもありました。



4校の出席者の記念撮影

引き続き懇親会が始まり、その後各高の紹介とスピーチ、お楽しみみの抽選会があり、和やかな内に会が終了、次回は、沢山の方々のお越しお待ちしております。

(記・長沼和秋)

同級生と歩く スイス花の旅



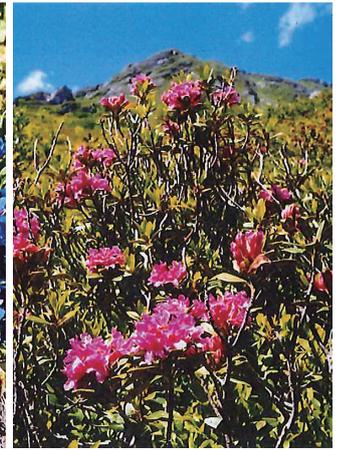
佐々木くに子

S.37年卒
鳥矢崎出身

スイスの6月は高山植物の宝庫でありトレッキング旅行として絶好のチャンスである。スイス狂の同級生千葉さんに誘われ六回目の同行となった。30年6月28日に岩高の同級生4人を含む9人のツアーは成田を出発し12時間の飛行でチューリッヒ着。今回は7コースのトレッキングが組まれている。翌日よりアイガー、メンヒ、ユングフラウを目前に仰ぎながら歩く。澄みきった空に白銀の三山が聳え立っており、コースを変えて眺められる贅沢さはたまらない。足元にはアルペンローゼ、エンツィアンや球花(菊科)などのスイスの名花たちが見事である。メンリッヘン、ミューレン、クライン・シャイデック、グリンデルワルトなどなど三山に関連する地名は素晴らしい光景を見せてくれる。アルペンメトロ、ケーブルカーやロープウェイが二千m以上の高さまで運んでくれるので山の奥深くまで行くこと



ゲンティアナ・ベルナ



アルペンローゼ

が出来ると。バツハアルプゼーへのトレッキングでは数えきれないほどの高山植物が色鮮やかに。特にゲンティアナ・ベルナの妖しいほどのブルーは美しかった。2時間程歩きバツハアルプゼー(湖)に着く。ヴェッターホルンとシュレックホルンが微かに映って見える。気温が低く神秘的なロケーションである。来た道に戻るが黄色のサラソウも見つけ日本の植物系に同じように感じた。旅の後半はツェルマットに入りマッターホルンを望むコースを歩く。3135mのゴルナーグラートまで行くがやはり山の天気は変わりやすく雲がかかってマッター



アルプスホルン演奏で歓迎

ホルンは見えない。翌日ブラウヘルトよりシュテリゼー(湖)まで右にマッターホルンを見ながら稜線を歩く素晴らしいコースである。ここでやっとエーデルワイスに出会った。エンツィアンの仲間リンドウなどここも花たちが豊富で色が深く満足感を十分に味わった。9日間の旅でしたが未知なる自然の偉大さに感動の連続でありそして同級生たちとこの様な繋がりが出来ていることに感謝の気持ちいっぱい旅を終えた。千葉君と添乗員筒井さんには脚に合わせたご案内ありがとうございました。

写真：マッターホルン(シュテリゼーより)



トップオブザヨーロッパ ユングフラウヨッホで



ゴルナーグラートにて(後ろはマッターホルン)

アメリカ横断の旅、 やっぱりすごかった!!



菅原 由美子

S.49年卒
栗駒出身

秋の爽やかな陽を浴びて、成田国際空港を出発したのは、2018年10月16日。

アメリカ9・11事件以来、アメリカ入国は厳重警備続行中。ESTA（米国電子渡航認証システム）の事前の手続きを済ませ、旅行カバンは、米関税官が鍵で開けられる特殊カバンにするようアドバイスがあり姪から借用。（現地では、カバンに鍵をかける必要は、JTBより指示有り。従ってベルトは必須アイテムである）

旅行日程は、デンバー乗換フェニックス（アリゾナ州）ミシジョンダラス（テキサス州）ニューヨークとアメリカ横断の旅である。デンバーでは雪が降り、フェニックスは通常砂漠気候なのだがアメリカも異常

天候のため気温15度（2日前までは30度との事）、NYは9度と目まぐるしく変動、場所が変わるたびに時刻も変更。持参の衣服は重ね着で何とか凌いだ。

今回は、アメリカ本社45周年・日本支社35周年を記念した研修旅行で、仲間が全国から集結し、会社が用意してくれたチャーター機でアメリカ国内を移動。前半は、アメリカ本社・研究所・製造工場等々、隅々まで見学させて頂き、現地の方々とも交流が出来た。後半は、ニューヨークのブロードウエーのど真ん中タイムズスクエア近くのホテルに滞在しこれぞ

アメリカを満喫した。地下鉄はきれいで乗り易く、街も碁盤の目のように整備され移動し易かった。が、物価は高く買い物もお財布と相談しながら行った。高層ビルが建ち並び、首が痛くなるくらい写真を撮った。想像以上にやっぱりアメリカはすごかった!!



本社周辺



アメリカ本社(フェニックス)



研究所の皆さん



自由の女神

香港での9年間



久保田 信子

S.36年卒
栗駒出身

かつて、香港に9年間暮らした久保田信子さんからお話を伺いました。

— 香港での滞在した期間は

1970年（昭和45年）から1979年（昭和54年）、主人の仕事の関係で、私が26歳の時に小学1年生の息子と3歳になる娘とともに9年間、香港で暮しました。

主人は、玩具メーカー「トミー」の海外責任者を務めておりまして、本格的に海外展開を開始するということで、その拠点が香港でした。

※「トミー」は現在の「タカラトミー」、玩具メーカー大手で会社が合併しない前は「トミカ」や「プラレール」で有名。

— 海外は初めてでしたか、不安はありませんでしたか

海外は初めてでした。香港での公用語は「広東語」で、香港に着いた2日

目に子供からお菓子が食べたいと言われ、買い物に行ったのですが、全然言葉が通じなくて悲しい思いをしたこと記憶しています。もちろん英語を話す人はおりましたので、その時は高校時代にもっと英語を勉強しておけば良かったと思います。

— ご主人様の英語力はどうでしたか

主人は早稲田大学商学部を卒業しているのですが、語学は独学で習得したと話しておりました。全部で5か国語を使いこなしており、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、広東語。病院に入院した時、カルテがドイツ語なので、それを見て理解しておりました。

— お子さんたちは、香港に行くことに対しどうでしたか

子供たちは何の抵抗感もなく、主人は海外出張が多くて家にいないことがあったので、お父さんと一緒に生活できると喜んでおりました。言葉も自然と身につけて、子供たちから言葉を教えてもらったことが多々ありました。

— 学校は日本人学校でしたか、それとも現地の学校に通わせましたか

息子は小中の日本人学校に、娘はイ

ギリス系の幼稚園に通いました。香港は建設ラッシュの時期でもありましたが、建設会社に勤める日本人の子供たちが多いように思いました。

— 香港で生活を始めての印象は

今の香港では考えられないのですが、街にはゴミが散乱していて、そしてその国の独特の臭いがあり初めは閉口したのですが、不思議なもので自然と慣れてしまいました。その当時の香港は、貧富の差が大きく裸足の人もよく見かけましたね。

— 滞在中の出来事について

扁桃腺手術後の調子が悪くて自宅で療養していた時、血管が破れ出血してしまい救急車を呼んだのですが、このことを見た隊員が事件だと思い込み警察を呼んでしまったことがありました。中学生になったばかりの息子が警察官に経緯を話してくれて事なきを得た時には、出張が多く不在気味の主人に代り、家を守るという気持ちを持っていたことには、息子の成長ぶりには驚きました。今でもしっかり私を守ってくれています。

— 香港はビルだらけ

香港は世界で第4番目に人口密度が



香港市内のレストランにて(右)



娘とのクリスマスパーティー



家族4人にて

高く20階を超える高層集合住宅が立ち並んでいます。例えば豊島区を例にあげると1平方キロメートルあたり2万人くらいの人々が住んでいます。香港の場合は同じ面積に5万5千人も住んでいて、結婚しても両親と同居する人も多く、家賃もとても高いのが現状です。

——香港は様々な美味しい食べ物が
ありますが

地元の料理は脂っこいものが多いので、初めは食べられませんでしたが、半年位でなんでも食べれる様になりました。一方で絶品はフカヒレ料理と上海力二で今でもその味は思い出してしまいます。

——栗駒のお母様が香港を訪れたと
伺いましたが



アジアとの子供達と(中央娘)

インターネットもなく、電話も交換を通しての時代、自分で仙台の県庁まで行ってパスポートを取得し、航空券は主人の会社で手配はしてくれたものの、空港での手続きや入国審査そして英語もしゃべれない、よくやれたなあと思いました。母は、滞在手続きを取り4週間位一緒に生活しました。

——帰国の経緯は

香港に長い間生活してましたので、とても楽しんでおりました。そんな中、主人の体調が思わしくなくなり、帰国せざるを得ない状況になってしまいました。その2年後主人は帰らぬ人となりましたが、私の人生でこれほど充実した時はなかったと思っております。

香港での生活の影響か私は東南アジアが大好きです。年に1度は必ず旅行します。食事も美味しく広東語も話せる国もありますので、とても楽しいです。この基盤を作ってくれました主人に感謝しています。

香港のことをお話したのは初めてで、今から50年前栗駒の田舎から海外で生活していた同窓生がいるということを知って頂ければ幸いです。

*



1970年代の香港市内



息子、娘そして私

香港で生活していらつしやったことは伺っておりましたが、9年間もおられたとは驚きでした。家族愛がいっぱい詰まった久保田さんのご家族そしてご主人様が5か国語話されていたことは、何か目指すものがあれば出来るものと改めて感じさせられました。

長沼和秋



栗駒のお母様(左)、ご主人のお父様(右)



現地の野菜市場での買物(右)



「栗駒山の里だより」
ワールド

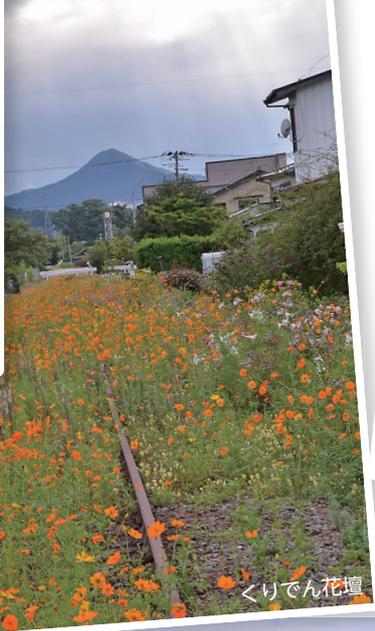


土井 祐之
S.54年卒
栗原市鳥矢崎在住

東京岩高会ふるさと大使 土井 祐之
さんのブログ「栗駒山の里だより」か
ら紹介頂きました。



生酒ほでなす



くりでん花壇



栗駒山雪渓登山



世界谷地湿原



くりこま商家のひなまつり



カモシカの親子



耕英でみかけたテン



冬の世界谷地湿原



円鏡寺のもみじ



文字の二連水車



栗駒山初冠雪



鶯沢新橋の白鳥

<ISO14000:2004 取得>

— 環境に思いやり —

金属スクラップ・リサイクル

株式会社 **ハガ**

栗原市栗駒中野田町西150

TEL0228-45-3421 FAX45-5300



↑ 栗原田町にある広大な敷地と工場全景
代表：芳賀 恭 (S.46年卒・岩ヶ崎出身)



栗駒山紅葉



土里夢のソフトシャーベット



岩ヶ崎の新しいカフェ&ケーキの店



鷺沢校舎



寺崎英子写真展



純米吟醸阿佐緒



田園と夕焼け



狩人の熊そば



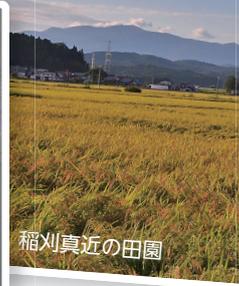
山車まつり



三迫川の桜



駒の湯温泉



稲刈真近の田園



山車祭り

「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻6番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

卒業生：S47加藤洋、S52岩淵功、S53五十嵐功、S55五十嵐晃、S58工藤勝枝、H9糟川亮、H19加藤圭

URL <http://kougenfarm.jp/>

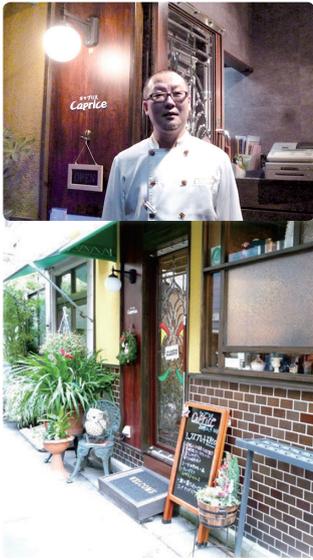
宮城・栗駒産
ひとめぼれ 高原米





同窓生が行っているお店です。是非足を運んで頂き、ふるさとの繋がり広場となれば嬉しいです！

キャプリス『Caprice』



キャプリスは、10年前に宮本洋子さん(S.42年卒)が八丁堀に開いたお店で、シェフは息子さんの勝徳さん。メニューは洋食創作料理、昼のランチプレートから、夜は単品だけでなくコース料理まで楽しみ、鰹のタルタル、しめた鯖のバルサミコ酢、豚バラを柔らかく煮込みあげたもの、ベーコンや野菜のグラタン、手作りのピザ、メインはお肉かお魚から選ぶことができます。ボリュームもありリーズナブルです。シェフの勝徳さんの銀座中学校の恩師は、S.46年卒の鈴木富樹さんだったとか。



東京都中央区八丁堀2-10-3
03-3553-5388
最寄駅:東京メトロ八丁堀駅5分、JR東京駅20分
営業時間:月~金曜日 11:30~14:00、17:30~22:00
土曜日17:30~22:00
定休日:日曜日・祝日

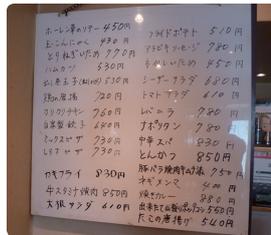
泉岳寺パブレストラン「いしかわ」



石川明美さん(S.55年卒)とご主人で行っているお店です。お店の回りはオフィス街で、ランチタイムでは多くのサラリーマンでにぎわっており、600円台のメニューもあるのは嬉しい限り、お店独自のデミグラスソースのハンバーグ、カツカレー、クリームコロッケなどのメニュー、昭和の洋食屋さんを思わせるような雰囲気の中、夕方になるとパブレストランにかわります。「いしかわ」をアナウンスして頂いたのは、近くに勤務されている築館高校の同窓生の方からでした。



東京都港区高輪2-20-26
セブンスターマンション1階
03-3449-2085
最寄駅:都営浅草線・京急「泉岳寺」
駅1分、JR品川駅10分
営業時間:11:00~13:30、
17:00~21:00
定休日:土曜日・日曜日、祝日



「和風酒場 海ぼうず」

山本信子さん(S.46年卒)の息子さん 直樹さんのお店です。豊富なおつまみメニューと充実のドリンクが楽しめて、海の幸から串焼をはじめとし、リーズナブルなおつまみメニューとこだわり日本酒をはじめとする幅広いドリンクを揃えており、楽しめる居心地のいい居酒屋です。店内貸切りや席貸切りもできますので歓送迎会や同窓会などさまざまなご宴会にご利用できます。閉店時間は遅くまでなので、とことん飲み明かしたい方は是非訪ねてみてはいかがでしょうか。



埼玉県吉川市木売2-6-5
吉川センター酒井ビル3F
048-981-3186
最寄駅:JR武蔵野線 吉川駅2分
営業時間:平日18:00~3:00、
金土祝前日18:00~5:00
定休日:月曜日

銀座ライツ法律事務所

弁護士 鎌田 正聰 (尾松出身)

事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番9号 KEC 銀座ビル 6階

TEL 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

URL <http://www.ginza-rights.jp/index.html>

サインボード・サインシステム

arte 株式会社アルテ

会長 吉野 玲子 (岩ヶ崎出身)

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5丁目30番9-403

TEL 03(6806)5069

(2016年
大宮(植竹)工場新設)



株式会社ティー・イー・シー

地球温暖化防止 (二酸化炭素 (CO₂))
削減にむけた対策を事業体に紹介しています。

1. 下水道料金削減システム

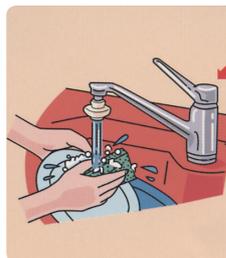
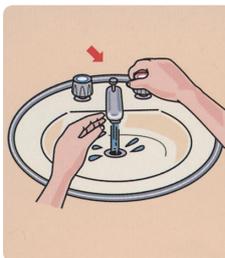
2. 上下水道料金削減システム

3. 節水器のご案内

・末端の水栓に取り付け。
元栓を止めずに作業が可能。



・節水をすることで燃料費の節約にも効果大。



TEL: 0463-75-4357

FAX: 0463-75-0676

代表 代表取締役 守屋達男
守屋みさ子
(旧姓 佐々木46年卒)

連絡先 259-1306
神奈川県秦野市戸川
867-10



菅原勲会長と栗原市マスコットキャラクター
「ねじり ほんによ君」

東京栗駒会

会長 菅原 勲

鶴ヶ飴 駒ゆべし 季節の和菓子



岡本老舗

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 S.53年卒 岩ヶ崎出身



グリーンパーク 旦妃楼飯店

住 所：東京都台東区上野公園1-59

電 話：050-5815-0516

創作中国料理

旦妃楼飯店



新しい風、上野へ。

本場上海から、話題の美食先進スタイル上陸!

中国伝統料理に、フレンチ、イタリアン、和食、薬膳などのテイストや
いままでにない発想を取り入れた、新感覚の中国料理 ニューベル・シノワ。



ITで実現できる
創造力を生み出すオフィス



理工事務機株式会社

会 長 亀 井 榮 利

(旧姓・門伝 鷺沢出身)

代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-14 A&Xビル
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

東京岩高会の活動

2019年
第61号

令和元年7月21日 発行

発行人

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部 東京岩高会 TEL 090-1533-9181
〒192-0023 東京都八王子市久保山町1-9-99 支部長 長沼和秋

(有)第一コミュニケーション印刷



4高会 H30.12



本部総会 合唱部への支援 H30.8



母校訪問 H30.8



東京栗駒会新年会 ハイルゲーム
右: 阿部豊喜さん(H30・R元 PTA会長)による
イワナの提供 H31.1



東京栗駒会 出席 H30.6



岩ヶ崎夜市 H30.8 右: 高橋将さん(H14卒 市議会議員)



編集会議 H30.6



築館高校同窓会東京支部総会(書道家 相馬美希さんと) H30.7



暑気払い フレーフレー H30.7



くりこま高原ファーム 大塚商人まつり訪問 H30.10



同窓会入会式 H31.2